

施策評価シート（平成26年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	3-1	政策名	子育て環境の充実	政策の 目指す姿	子育てに喜びを感じ、安心して健やかな成長を育んでいます	施策 主管課	こども課	施策主管 課長名	小田中 清子
	施策No.	3	施策名	就学前教育の充実	施策の 目指す姿	保育園、幼稚園から小学校へのスムーズな接続ができています	関係課名			
	現状と課題	・市内には公立15園・法人立20園の保育園と、公立2園・法人立7園の幼稚園がありますが、園舎の老朽化や入園者数の地域的偏りが見られます。 ・子どもたちの生活様式が大きく変化しているなか、車での移動やゲーム機での遊びの増加等による体を動かす機会の減少や、幼児の同年代や地域の人々と交流する機会の減少により、体力や運動能力、コミュニケーション能力の低下がみられます。 ・小学校入学後、新しい環境に馴染めない子どもや基本的な生活習慣が身につけていない子ども、人の話を聞けない子ども等が見られます。								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

(1)保育・教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> 安心、安全な保育・教育環境を保つため、定期的に施設を点検し、環境整備を行った。 私立幼稚園の運営を補助し、振興に対する支援を行った。 私立幼稚園の保育料に対して就園奨励補助を行い、保護者の負担の軽減を図った。
(2)就学前教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 保育園・幼稚園長、小学校長による合同会議を開催し、幼児教育の理解を深め、連携強化を図った。 保育園、幼稚園、小学校が連携して保幼小接続期のカリキュラムを実践し、子どもたちの小学校へのスムーズな接続を図った。 保育士、幼稚園教諭が保幼小一体研修に参加し、保育・教育の質の向上に努めた。 ことばの表現能力に課題のある子を早期に発見し、発達の支援を行った。 幼児期の体力・運動能力の向上を図るためコオ-ディネーショントレーニング教室を開催した。 少人数の保育環境にある5歳児を対象にして発達に必要な集団活動を体験する機会を定期的に設けた。 食育や郷土芸能の伝承など、地域人材を活かした取り組みを行った。

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
小学校入門期(小学校1年生の4~5月)における学校生活への適応率	保育園、幼稚園から小学校における「保幼小接続期のカリキュラム」を活用し保育、教育の成果を示す指標	出典:こども課 小学校1年生担任アンケート 問:身支度ができる、集団行動ができる、学習のルールがわかるか。	%	目標値				85.0	85.0	85.0
				実績値	—	—	82.5	93.0		
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<p>■成果指標「小学校入門期における学校生活への適応率」・・・【達成度a】</p> <p>・アンケートより「よく話を聞いている」「遊びの時間やルールを守って遊んでいる」など、概ね学校生活に適應している子どもが9割以上である。H21年度からの就学前教育プログラムによる取り組みが適應する力となっているものと捉えられる。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	保育所保育環境充実事業	こども課	C	B
	公立保育園の保育施設環境整備 (太田:床改修、湯本:駐車場舗装、宮野目:フェンス設置、日居城野:トイレ改修)等			
2-1	幼稚園教育環境事業	こども課	C	A
	幼稚園就園奨励補助金、私立幼稚園運営補助を行う。幼稚園就園奨励費補助金交付人数 738人			
2-2	幼稚園教育環境事業	こども課	C	B
	公立幼稚園の教育環境の整備 花巻幼稚園:トイレの洋式化			
3	家庭教育力向上事業	こども課	A	B
	保幼小が連携し、接続期カリキュラムの実施や学習参観及び保育参観の実施 保育園・幼稚園長、小学校長合同会議の開催 (年2回) 保幼小研修会 (年 1回) 公開保育研究会 (年1回) 保幼小が連携に関わる園や小学校の参観をした保育士と教諭の数 延べ182人 給食参観した人数 69人			
4	保幼小一体研修事業	こども課	B	A
	市内保育園・幼稚園の保育士、教諭を対象とした研修に外部講師を導入し、保育内容をさらに充実させる。 研修会参加人数 756人 (保幼小連携研修、専門研修、公開保育等)			
5	幼児ことばの教室	こども課	B	B
	幼児のことばの検査及び指導の実施 ことばの指導実施幼児数 72人 相談対応件数 49件			
6	ニコニコ元気っ子事業	こども課	B	C
	幼児期での体力・運動能力の向上に取り組む COT教室参加園児数 1,984人			
7	ニコニコ交流事業	こども課	B	-
	少人数の環境にある保育園児と同地域内での他保育園児との交流会 交流会参加児童数 332 人(2地域 各5回開催分)			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)

(新たに取り組むべき事業はないか)

6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・保幼小連携については年長、小学1年の担任のみの課題として捉えられがちであるため、H26に作成したアプローチカリキュラムや、H27に作成するスタートカリキュラムを園や学校全体で活用していく必要がある。
- ・小学校低学年の体力、運動能力の低下が懸念されているが、就学前児童の幼児の実態が捉えられていない。

(今後の方向性)

- ・教師個々ではなく、学校全体、園全体での取り組みとなるよう小中学校課と連携し、アプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの定着を図っていく。
- ・就学前の幼児の体力や運動能力調査を実施し実態を把握し、体力、運動能力の向上につながるコーディネーショントレーニングなど具体の取り組みを継続して行うほか、指導者資格取得希望者に研修の機会を紹介していく。